

ネイチャーセンターだより

カワアイサ

英名 : Goosander

学名 : *Mergus merganser*



風蓮湖周辺に 1 年中暮らすカモの仲間です。どちらかという淡水の湖沼や河川によくいるためこの名前がついています。根室では港湾などの海でもよく見かけます。

水にもぐって魚などをとって食べます。風蓮湖などで少数が子育てをするため、夏の湿地で親子仲良く泳いでいる姿を見かけることがあります。

5 月のイベント



早起きバードウォッチング

～春の鳥に会いに行こう～

日時 : 5 月 17 日 (土) 5 : 30 ~ 8 : 00

集合場所 : 春国岱ネイチャーセンター

内容 : 子育てのためにやってきたノビタキなどの野鳥を、さえずりを楽しみながら探します。

申込み : 電話にて先着 20 名

持ち物 : 参加費 100 円、暖かく歩きやすい服装、あれば双眼鏡

申込締切 : 5 月 11 日 (日) 雨天中止

対象 : 小学校 3 年生以上 (小学生以下保護者同伴)

ボランティア説明会

～自然に関わるボランティア～

日時 : 5 月 24 日 (土) 10 : 00 ~ 12 : 00

集合場所 : 春国岱ネイチャーセンター

内容 : 野鳥や自然の調査や観察会などを行うフィールドボランティア。自然に関わるボランティア活動をはじめたい方を募集します。

申込み : 電話にて先着 20 名

持ち物 : 暖かく歩きやすい服装、あれば双眼鏡、筆記用具

申込締切 : 5 月 18 日 (日) 雨天中止

対象 : 高校生以上

ネイチャーセンターからのお知らせ

風蓮湖・春国岱フィールド講座

～片野鴨池に学ぶワイズユース～

3月16日(日)、ネイチャーセンターにて「風蓮湖・春国岱フィールド講座 ～片野鴨池に学ぶワイズユース～」を開催しました。「風蓮湖・春国岱」がラムサール条約に登録されてから2年、条約でうたわれている「ワイズユース(賢明な利用)」を進めるために、様々な取り組みが行われてきました。そこで、今後のヒントを得るために、同じく条約湿地である「片野鴨池」での取り組みについて、加賀市鴨池観察館の田尻浩伸チーフレンジャー((財)日本野鳥の会)にご講演いただきました。

「片野鴨池」は、10haの小さな湿地ですが、マガンやヒシクイなどガン類の西日本最大級の越冬地であり、天然記念物トモエガモの国内最大級の渡来地でもあります。今回は、片野鴨池の歴史やカモの生態、ラムサール条約についてなどの基本のお話と、加賀市における「ワイズユース」として、伝統猟法である「坂網猟(さかあみりょう)」や、地元の方の活動、鴨池観察館レンジャーが地元の方と協力して行っている「冬水田んぼ」の活動などのお話をうかがいました。

「冬水田んぼ」とは、ガン・カモ類の採餌場を増やすために、カモ類がやってくる冬の間、農家の方の協力で田んぼに水を張る活動です。野鳥たちのフンなどが翌年の稲作の肥料となることを利用し、減農薬、減肥料の「加賀の鴨米 ともえ」を栽培し、地元特産物として販売するといったワイズユースを行っています。講演のほか、地域の方への普及教育に使用している環境教育プログラムを行いました。参加者に2グループに分かれてもらい、水辺の鳥が暮らせる湿地について話し合っ、模造紙に描いていただきました。

参加者からは、「本州でこのような取り組みが行われていることを知ることができて良かった。」「地域の人たちと共に活動することができる取り組みが勉強になった。」との声が聞かれました。



ボランティアの活動と募集

ワシの調査を行いました

冬の間、風蓮湖・春国岱に越冬に来るオオワシ、オジロワシの個体数を数える調査を行いました。今年は1月20日、2月3日、17日、25日の4回調査を行いました。

温根沼や風蓮湖周辺の複数の調査ポイントから、望遠鏡とカウンターを使って種類ごとに1羽ずつ数を数えて行きます。今年は各調査日も天気がよく、ボランティアの方とレンジャーで数を数えることができました。

今年は2月3日の調査のオオワシ722羽、オジロワシ92羽が最多でした。

フィールドボランティア募集中

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。

対象：高校生以上

保険料：300円(年間)が必要となります。

【お問合せ】電話 0153-25-3047

自然情報 * 4月 *

フクジュソウやミズバショウなどの早春の花が咲きはじめます。
 少しずつ春のけはいが感じられるようになり、鳥たちの渡りもはじまります。



展望台は、老朽化のため現在利用できません。ご了承ください。
 センターでは、双眼鏡、野鳥図鑑の無料貸出を行っています。ご利用ください。

小鳥の小道

フクジュソウ

ネイチャーセンター横の自然学習林では、雪解けが始まる頃、真っ先に、雪の間から黄色いフクジュソウが花を咲かせます。この花に続き、次第にザゼンソウやミズバショウなどの早春の花が咲き始める季節になります。



ハマナスコース

ヒバリ

第一砂丘の草むらで、天高く舞い上がり大きな声で高らかに鳴いている姿がよく目立つ小鳥です。これから夏に向けて地面に巣をつくり、春国岱で子育てをします。たくさんのヒバリがなわばり宣言をしながら飛び、とてもにぎやかになります。



ヒバリコース

オオハクチョウ&カモ

北へ帰る途中のオオハクチョウやカモたちがたくさん湖を訪れます。繁殖地へ向かうための力をたくわえるために、しきりにエサを食べたり、休憩したりしています。冬の間湖に閉ざされていた湖をにぎやかにしてくれます。



キタキツネ・アカエゾマツコース

カラ・キツツキ類

森の小鳥たちも、子育てに向けて活発に活動するようになります。カラの仲間たちのさわやかなさえずりが聞こえてきます。



アカゲラなどが木をつつくドラミングの音が森に響いて、聞こえてきます。

ネイチャーセンター日記

かたく凍りついていた風蓮湖の水が緩み、フクジュソウが咲きはじめた春、レンジャー養成講座 in 根室を開催しました。今年は自然解説編として自然等について人に伝える方法について、3月22日23日に(財)日本野鳥の会箱田篤只氏と山口蘭氏を講師にお招きして学びました。

初めて解説をする方から仕事で自然ガイドをしている方まで、いろいろな方が参加されました。今回は事前に用意されたアクティビティーを何度か繰り返し実演し、解説の形の1つを知るとともに、実演のスキルアップをしました。

参加者同士で実演についてのアドバイスや意見を本人に返すことによりこれまで気付かなかった自分のくせや足りない所を改めて見直す機会となったようです。

これからの根室の自然を見つめる方がどんどんと増えるように、今回の講座をそれぞれの参加者の方に役立てていただければと感じています。



メール配信のお願い



郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。 連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp
(郵送をご希望の方には今後も郵送いたします。)

ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。(PDF形式)
ホームページ: http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

団体の方へ～解説のご案内～

事前にお申し込みが必要です。

野外での解説は、学校など自然学習を目的とした団体などに限らせていただきます。詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。(電話 0153-25-3047)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 野外解説・自然学習 | (～2時間 / ～20名) |
| 春国岱の自然(映像) | (15分～25分 / ～45名) |
| 自然クイズラリー | (約1時間 / ～50名) |
| タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム | (0.5～2時間 / ～20名) |
| 施設概要説明 | (30分～2時間 / ～45名) |

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570
HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
メール nemu_nc@marimo.or.jp
4月の開館時間 9:00～17:00
4月の休館日 2・9・16・23日(30日は臨時開館)

